

ほのか診察室

HONOKA Consultation room

シリーズ

第111話

不整脈とペースメーカー

●不整脈とは

心臓の刺激伝導路(図)に異常が生じることで、脈が速くなったり遅くなったり、不規則になったりなど、脈が乱れる状態をいいます。心臓は、洞結節(図中の赤枠)で電気刺激が規則正しく発生して、刺激伝導路を正しく伝わっていけば、1分間に約60〜80回のリズムカルな収縮を繰り返します。ところが、洞結節以外の部分で異常な電気刺激が発生したり、電気刺激が刺激伝導路をうまく伝わらなかつたりすると、心臓が収縮する速さのリズムに乱れが生じ、その結果、脈が乱れて不整脈になります。

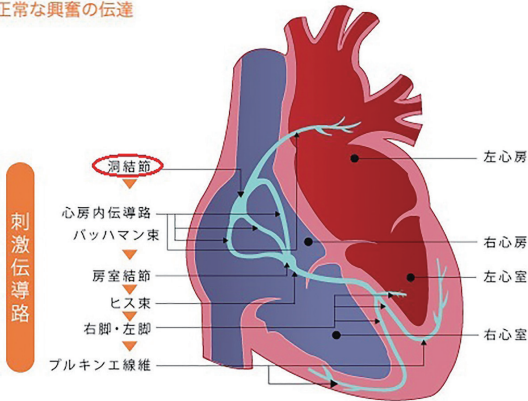


市民病院 診療支援部
臨床工学課 監修



原因は、先天的なものや加齢によるもの、生活習慣からくるもの、全身の病気、心臓の病気などさまざまです。症状は、胸が苦しい、動悸がする、脈が飛ぶなどがあります。多くの場合、治療の必要はありませんが、中には失神・突然死につながるものもあるため、一度医療機関で精密検査を受けることをお勧めします。

正常な興奮の伝達



り、本体は表面がチタンという金属で覆われていて、その内部は大部分が電池(バッテリー)と動作を制御する回路でできています。ペースメーカーは、本体に接続されたリードを介して心臓の電気信号を24時間監視し続け、心臓のリズムを調整する必要があります。場合によっては電気刺激を送って治療を行います。

不整脈は、脈が正常範囲を超えて遅くなる「徐脈性不整脈」と、反対に速くなる「頻脈性不整脈」の2つに大きく分けられます。ペースメーカーは「徐脈性不整脈」を治療するための医療機器です。

●ペースメーカーの原理と仕組み

ペースメーカーは「徐脈性不整脈」を監視して治療するように設計されており、本体と心臓の電気信号を感じます。電気刺激を伝えるための「リード」と呼ばれる電線で構成されており、

●注意すべきこと
ペースメーカーの植込み手術が無事に終了し、退院した後患者さんが健康に過ごすために、主治医の指示を守って定期的に検査を受診してください。

ペースメーカーは電池で作動しているため、電池が少なくなると本体を交換する必要があります。交換手術は、本体のみの交換の場合は比較的短時間で済みます。リードに異常があった場合は、新しいリードと交換するため多少時間がかかります。

医療機関によって検査の間隔は異なりますが、通常は3カ月〜半年に1回の割合で、ペースメーカーの植込み手術をした医療機関もしくは経過観察を行う医療機関で検査を行います。最近では遠隔診断機能を備えたペースメーカーもあり、自宅で検査を受けることができるものもあります。どのペースメーカーを使うか、主治医に相談してください。

